



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日

上場会社名 株式会社ダイヘン 上場取引所 東・福  
 コード番号 6622 URL <https://www.daihen.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蓑毛 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 企画本部経理部長 (氏名) 小澤 茂夫 (TEL) 06-6390-5506  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	43,306	22.7	897	16.3	1,490	11.7	636	△7.5
2024年3月期第1四半期	35,290	△3.8	772	△57.6	1,334	△43.6	688	△57.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 4,019百万円(25.2%) 2024年3月期第1四半期 3,210百万円(△40.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	26.17	—
2024年3月期第1四半期	28.05	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	271,386	150,034	49.9
2024年3月期	276,624	148,595	48.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 135,495百万円 2024年3月期 134,136百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	82.50	—	82.50	165.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	82.50	—	82.50	165.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	14.0	4,500	△11.3	5,000	△13.6	3,500	△14.4	143.35
通期	205,000	8.7	16,000	5.6	16,800	4.5	12,000	△27.2	491.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) OTC DAIHEN INDIA Pvt.Ltd.、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	25,603,291株	2024年3月期	25,603,291株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,300,708株	2024年3月期	1,186,740株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	24,340,550株	2024年3月期1Q	24,538,757株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期のダイヘングループの業績は、配電機器の更新需要が堅調に推移したことに加え、前年度第3四半期以降に買収した新規連結子会社の影響もあり、受注高は532億9千2百万円（前年同期比21.5%増）、売上高は433億6百万円（前年同期比22.7%増）となりました。その結果、営業利益は8億9千7百万円（前年同期比1億2千5百万円増）、経常利益は14億9千万円（前年同期比1億5千5百万円増）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては非支配株主に帰属する四半期純利益の増加により6億3千6百万円（前年同期比5千1百万円減）となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりであります。

#### ① エネルギーマネジメント

国内の配電機器及び海外の大形変圧器の更新投資が堅調に推移したことに加え、東北電機製造株式会社と四変テック株式会社を連結子会社化した影響もあり、売上高は240億3千2百万円（前年同期比45.4%増）、営業利益は13億1千3百万円（前年同期比480.8%増）となりました。

#### ② ファクトリーオートメーション

生産自動化の需要は底堅く推移しておりますが、欧米での金利高止まりや国内外の経済動向の不透明感から投資が先送り傾向となり、売上高は55億4千2百万円（前年同期比8.3%減）となりました。また、事業拡大に向けた先行的な経費投入もあり4億9千7百万円の営業損失（前年同期は9千9百万円の営業利益）となりました。

#### ③ マテリアルプロセッシング

溶接・接合機器の国内建築及び自動車関連投資は減少しましたが、Lorch Schweißtechnik GmbHを連結子会社化した影響もあり、売上高は136億8千2百万円（前年同期比8.0%増）となりました。営業利益は国内の売上高減少に加え、買収によるのれん償却費計上もあり、11億7千4百万円（前年同期比23.4%減）となりました。なお、生成AIの活用拡大を背景に半導体関連機器の需要が回復傾向にあり、セグメント全体の受注高は増加（前年同期比33.9%増）となりました。

#### ④ その他

売上高は5千万円、営業利益は1千2百万円で、前年同期からの大きな変動はありません。

(参考) セグメント別の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高		売上高		営業利益	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
エネルギーマネジメント	27,517	+17.6%	24,032	+45.4%	1,313	+480.8%
ファクトリーオートメーション	8,384	+12.1%	5,542	△8.3%	△497	—
マテリアルプロセッシング	17,339	+33.9%	13,682	+8.0%	1,174	△23.4%
その他	50	+7.2%	50	+7.2%	12	△14.0%
全社計	53,292	+21.5%	43,306	+22.7%	897	+16.3%

**(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況**

当第1四半期末の資産合計は、棚卸資産や有形固定資産が増加する一方、受取手形及び売掛金の減少などにより2,713億8千6百万円（前年度末比52億3千8百万円減）となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務等の減少などにより1,213億5千1百万円（前年度末比66億7千6百万円減）となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加などにより1,500億3千4百万円（前年度末比14億3千8百万円増）となりました。なお、自己資本比率は前年度末の48.5%から1.4ポイント上昇して49.9%となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

第1四半期の業績は低調ながらも概ね年初計画通りに推移しております。なお、足元では欧米の金融政策の動向など不透明感がありますが、電力会社向け更新投資が堅調であることに加え、半導体関連投資が増加基調にあることから業績は改善する見通しにあります。

これらの状況を踏まえ、第2四半期及び通期の業績予想につきましては、前回公表値（2024年5月9日公表）を修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,327	21,920
受取手形及び売掛金	57,746	41,188
商品及び製品	30,679	34,127
仕掛品	16,793	18,938
原材料及び貯蔵品	51,540	54,618
その他	7,666	7,385
貸倒引当金	△785	△787
流動資産合計	186,968	177,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,640	23,498
機械装置及び運搬具（純額）	8,251	9,388
工具、器具及び備品（純額）	2,049	2,141
土地	13,161	13,525
リース資産（純額）	345	351
建設仮勘定	4,437	1,954
有形固定資産合計	48,886	50,859
無形固定資産		
のれん	2,040	2,114
ソフトウェア	2,055	2,040
リース資産	0	0
その他	309	304
無形固定資産合計	4,406	4,459
投資その他の資産		
投資有価証券	14,536	15,539
出資金	700	2,241
長期前払費用	393	386
退職給付に係る資産	17,649	17,322
繰延税金資産	1,370	1,437
その他	1,758	1,791
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	36,362	38,674
固定資産合計	89,655	93,993
資産合計	276,624	271,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,040	18,617
電子記録債務	15,410	14,260
短期借入金	30,192	28,777
1年内返済予定の長期借入金	5,121	6,773
リース債務	90	87
未払法人税等	2,184	908
賞与引当金	3,285	1,776
役員賞与引当金	78	18
工事損失引当金	122	83
その他	10,111	8,870
流動負債合計	86,638	80,171
固定負債		
長期借入金	30,850	30,373
リース債務	197	213
繰延税金負債	4,279	4,450
役員退職慰労引当金	109	88
債務保証損失引当金	765	902
耐震工事関連費用引当金	578	578
製品安全対策引当金	3	2
退職給付に係る負債	2,954	2,953
資産除去債務	108	108
その他	1,542	1,508
固定負債合計	41,389	41,180
負債合計	128,028	121,351
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,596	10,596
資本剰余金	10,010	10,010
利益剰余金	94,767	93,769
自己株式	△2,349	△3,378
株主資本合計	113,025	110,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,208	6,924
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	9,104	11,899
退職給付に係る調整累計額	5,798	5,674
その他の包括利益累計額合計	21,110	24,497
非支配株主持分	14,459	14,539
純資産合計	148,595	150,034
負債純資産合計	276,624	271,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	35,290	43,306
売上原価	25,418	30,839
売上総利益	9,872	12,466
販売費及び一般管理費	9,100	11,568
営業利益	772	897
営業外収益		
受取利息及び配当金	186	469
為替差益	303	264
その他	290	275
営業外収益合計	781	1,008
営業外費用		
支払利息	93	203
損害補償費用	—	118
その他	124	94
営業外費用合計	218	416
経常利益	1,334	1,490
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	109	—
特別利益合計	109	—
特別損失		
債務保証損失引当金繰入額	—	137
貸倒引当金繰入額	217	—
特別損失合計	217	137
税金等調整前四半期純利益	1,227	1,353
法人税等	551	593
四半期純利益	676	759
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	688	636



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	676	759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	908	764
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	1,637	2,626
退職給付に係る調整額	△62	△134
持分法適用会社に対する持分相当額	50	2
その他の包括利益合計	2,534	3,259
四半期包括利益	3,210	4,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,212	3,848
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したOTC DAIHEN INDIA Pvt.Ltd.を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

・連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち、決算日が12月31日であるLorch Schweißtechnik GmbHは、同社の同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行ってまいりました。

連結財務諸表のより適切な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、連結決算日に仮決算を実施して連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2024年1月1日から2024年3月31日までの3ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	エネルギー マネジメント	ファクトリー オート メーション	マテリアル プロセッシング	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,532	6,041	12,669	35,243	46	35,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	0	2	—	2
計	16,532	6,043	12,670	35,246	46	35,292
セグメント利益	226	99	1,532	1,858	14	1,872

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,858
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△1,100
四半期連結損益計算書の営業利益	772

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	エネルギー マネジメント	ファクトリー オート メーション	マテリアル プロセッシング	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,032	5,541	13,682	43,256	50	43,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	0	1	—	1
計	24,032	5,542	13,682	43,257	50	43,307
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,313	△497	1,174	1,990	12	2,002

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,990
「その他」の区分の利益	12
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△1,104
四半期連結損益計算書の営業利益	897

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,207百万円	1,476百万円
のれんの償却額	一百万円	61百万円